

成果指標設定調書

【成果指標の設定】

成果指標設定年度 31 年度

市町村名	久喜市			
提案事業名	合併10周年記念 郷土愛醸成・魅力発信事業			
事業期間	平成 31 年度 ~ 平成 31 年度			
事業の必要性、目的	全国的な少子高齢化社会の到来に伴い、当市は緩やかな人口減少が続いていることから、これまで、郷土愛の醸成と市の魅力発信などのシティプロモーション活動を推進し、定住促進に取り組んできた。合併10周年を契機として、このような取り組みを更に発展させるため、各記念事業を実施し、更なる郷土愛の醸成と市の魅力発信に取り組み定住促進を図る。			
成果指標	(成果を検証する指標) 合併10周年記念イベント来場者数			
	(成果検証の具体的な方法) 合併10周年記念イベントに来場した人数を計測する。			
	(上記の指標を設定した理由) 本事業の目的を、1年を通じた郷土愛の醸成と市の魅力発信としており、年度末に実施する記念イベントの来場者数でその成果を図れると考えられるため。			
	(成果の目標値)			
	現状値 (年 月現在)		目標値 (平成32年3月時点)	6,000人
	(施設建設等の場合)			
	年間利用者数(目標) (人)		稼働率(目標) (%)	
	住民への公表方法及び特記事項			

【成果指標と構成事業の関連性】

平成31年度 構成事業

構成事業名		概要・成果指標との関連性	事業費(千円)
① 合併10周年記念 LOVEくき醸成事業	ソフト	高校生のアイデアを基にした「久喜市ブランドのクッキー」の商品化及び「クッキーダンスコンテスト」を開催し、成果を発表する場となる記念イベントの来場者数を増やします。	6,940
② 合併10周年記念 協働のまちづくり推進事業	ソフト	協働や市民参加の意識を高めることで、市民参加・市民主体で実施する記念イベントの参加者を増やします。	5,000
③ 合併10周年記念 郷土愛醸成・魅力発信ツール作製事業	ハード ソフト	市内外への魅力発信と郷土愛の醸成を推進するためのPRツールを作製することで、1年を通して記念の年を周知し気運を高めることで、合併10周年記念事業の集大成としての記念イベントの来場者数を増やします。	8,238
④	ハード ソフト 間接補		
⑤	ハード ソフト 間接補		
⑥	ハード ソフト 間接補		
合計			20,178

【成果指標の達成見込み】

目標達成のための具体的な方策	各記念事業を実施し、記念の年に対する周知や気運を高めることで、年度末に実施する記念イベントにおいて目標に掲げた来場者数を達成する。
成果指標の達成見込み	平成26年度に実施した、合併5周年記念イベントにおいて来場者数が約6,000人であったことから、達成可能な来場者数と判断した。

(記入上の注意)

【成果指標の設定】

・住民への公表方法は具体的に記述すること

【成果指標と構成事業の関連性】

・提案事業を構成する各事業(構成事業)について次のとおり分類すること

「ハード」 施設建設等が中心の事業(ハード事業)。

「ソフト」 主に人的要素を活用した活動でハード事業以外の事業(ソフト事業)。

「間接補」 青年会議所、商工会議所・商工会、自治会、NPO等の公共的団体が実施する事業
に対して市町村が補助金を交付するもの(間接補助事業)。

・事業費は補助金を要望する単年度の事業費のみ記入すること。また、間接補助事業の場合には、
事業費の下に()書きで、市町村の負担額又は補助額を記入すること。